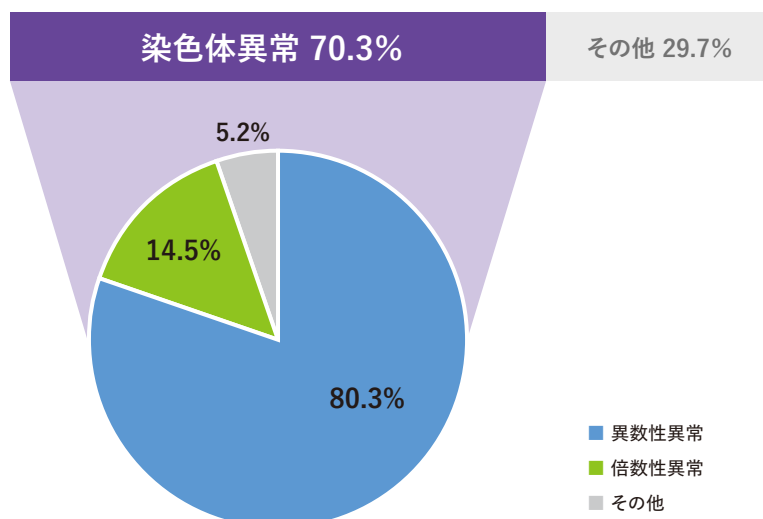


流産の原因を 染色体から探る

NGS解析・培養不要・凍結保存可能

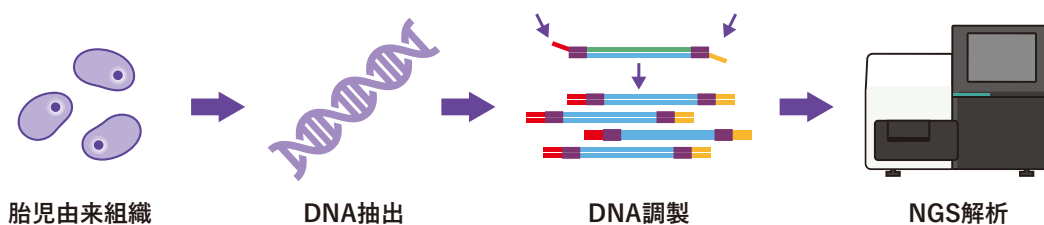


ご存じですか？流産の約70%は染色体異常が原因です



出典：Soler A et al., Cytogenet Genome Res. 2017;152(2):81-89

特長



速い

・結果報告

できる

・倍数性解析
・微量検体
・凍結保存

不要

・培養不要

● 判別できますか？ ●

Varinosの次世代POCゲノム検査は異数性解析と倍数性解析がセットになった検査です。提出された検体に母親由来の細胞が混入していた場合、異数性解析だけでは正確な判定ができない可能性があります。特に検体の結果が(46,XX)の場合、母親由来の結果である可能性が否定できません。Varinosの倍数性解析は、DNA配列上の一塩基多様性であるSNVを解析に用いているため、胎児と母親の遺伝子型を比較することで結果が胎児由来のものであるか否かを判別することが可能です。もし母親由来の細胞の混入の不安がある場合、追加検査（有料オプション）として母親の口腔細胞と一緒に提出して下さい。



次世代POCゲノム検査 FAQ

70%



自宅で流産した患者様へはどのように対応したら良いでしょうか？

乾燥させないようにラップなどにくるんで冷蔵庫で保存し、早めに医療機関に持ってくる様お願いしてください。



母親由来と胎児由来の染色体を判別できるのでしょうか？

母親の口腔細胞と一緒にご提出していただいた場合、判別可能です。遺伝子型の比較により母親か胎児かを判別します。



検体の保存温度と保管期間は？

胎児・絨毛組織を選別して凍結してください。冷凍で3ヶ月保存可能です。



検体の輸送温度をおしえてください。

ドライアイスを入れて冷凍状態を維持して送ってください。



妊娠初期の流産物でも解析できますか？

はい、できます。
染色体異常による流産は妊娠初期が多く、今後の方針を決める上でも意義のある検査です。



結果報告書はどのような形式ですか？

分かりやすいチャートとスコア表で検査結果をお知らせします。



- ・本検査は、絨毛を用いた出生前診断は対象になっておりません。
- ・胎児・絨毛組織の選別は本サービスに含まれておりません。各医療機関様で選別しご提出をお願いします。
- ・検体の状態により検査結果に影響を与える可能性がございます。
- ・その他ご不明な点がございましたら営業担当までご連絡ください。

